

## 平成15年度第1回運営委員会議事要旨

1. 日 時 平成15年6月16日(月) 10:05~12:15
2. 場 所 東海大学校友会館「三保の間」
3. 出席者 委 員：会長(議長)三浦 和  
池田由紀江、遠藤昭雄、香川邦生、今野芳子、坂田紀行、館暁夫、  
西川公司、塙忠蔵、皆川春雄、宮崎英憲  
文部科学省：上月正博特別支援教育課長  
研 究 所：細村理事長、中山理事、西嶋監事、小林監事、山本総務部長、  
千田、穴戸、小塩、笹本、西牧、渥美、後上各部長 他

### 4. 議事の審議経過概要 配付資料の確認 前回議事要旨の確認 議事

#### (1) 外部評価(研究活動)の結果について

会長(議長)から、本委員会に外部評価部会を設置し、運営委員4名と運営委員以外の外部有識者7名を部会委員としてお願いし鋭意評価が行われた、この度、その結果がまとめ、香川外部評価部会長から報告を受けた、旨報告があった。

事務局から経過説明があった後、部会長から、資料3に基づき外部評価実施内容の説明があり、総評としては、全体的にはしっかり取り組んでおり、まずまずの成果を上げているが、包括的な研究目標のもとにいくつかの研究を組織している場合、個々の成果の研究目標への関連性が少し見えにくいのではと感じた、成果をより明確に評価するには、終了時点で良いか、途中での評価が必要ではないか、旨報告があった。

意見交換がなされ、主な意見は以下のとおり。

研究途中での評価の方法としては、中心的な課題をいくつか抜き出して行うことが考えられる。

研究のための研究にならないよう、「マーケットビリティ」との考え方が重要である。

評価に当たっては、教育現場で活用できるものかの観点を重視しており、多くの研究が実際に活用されるものと思われる。

特殊研の使命や世の中の要請から、他の機関でできないものを積極的に実施してほしい。その場合、優先順位により対応し、満点でなくとも短期間に成果を出すことも必要ではないか。

テーマ設定が重要であり、また、その成果については分かりやすさと迅速さが期待される。

#### (2) 平成14年度事業報告について

事務局から、文部科学省独立行政法人評価委員会学校教育分科会国立特殊教育総合研究所部会における平成14年度業務実績評価のスケジュール説明を含め、資料4及び5に基づき内容説明があった後、意見の交換があった。

主な意見は以下のとおり

教育相談で、学校コンサルテーションを重視する方向性は望ましいと考えるが、研究者の仕事量として過重になっていないだろうか。

マンパワー等整理すべき課題があるが、充実に向けて前向きに考えたい。

教育相談で、各都道府県の特設教育センター等との関係はどうか。

各都道府県の特設センター等との連携のもとに保護者が安心できる相談を進めたい。

教育相談年報の刊行・提供は、先進的である。

各地域が障害のある子どもの相談を考えるべきであり、本来、特殊研すべき教育相談の在り方（相談員のリーダー養成、希少障害等地域で対応できないケース）を早急に整理すべきではないか。

世界の特殊教育等の刊行に当たっては、日本の特別支援教育の在り方に役立てる観点から、論点を少し整理し提供されたい。

国立久里浜養護学校との相互協力について、大学の附属学校となっても、これまで以上に研究所と密接な連携を図りながら、久里浜養護学校が自閉症教育のセンター的役割を担い発展してほしい。

### （３）国立特殊教育総合研究所の組織再編について

理事長から、研究所の検討経過について報告があった後、内容について事務局から資料６に基づき説明があった。

意見交換がなされ、主な意見は以下のとおり。

課題別研究の中で障害別の研究を行う体制とはなっているが、個々のニーズに応じた教育を推進するには、障害別の研究の推進が必要であり、これからも大きな役割を担ってほしい。視覚障害教育は対象が限られているが、ともすると外に追い出されたり、片隅に追いやられることを危惧するので、留意いただき、組織の運営に当たって配慮願いたい。

障害種別の専門性を如何に確保するかに留意いただき、再編を進めてほしい。

企画部は重要な役割であるので、十分な体制が期待される。

組織再編に当たって、各研修・講習等は今後どのようなようになるのか、現時点の検討状況教えてほしい。

研修コースの見直しとして、当面、短期研修は、重度・重複障害教育コースを見直し、肢体不自由教育のコースの設置及び視覚、聴覚等のコースに重複障害の内容を含めることを検討しており、校長・教頭講習は新任ではなく、ある程度キャリアのある者を対象とするよう検討を進めている。

文部科学省の不登校問題の報告書も踏まえて業務を進めてほしい。

先進的取り組み等、積極的に地方へ発信してほしい。

### （４）その他

特になし

以 上

独立行政法人国立特殊教育総合研究所運営委員名簿

平成15年4月1日現在

池田由紀江	筑波大学心身障害学系教授
遠藤昭雄	国立教育政策研究所長
加我牧子	国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部長
香川邦生	筑波大学心身障害学系教授
近藤弘子	社会福祉法人「侑愛会」おしま学園長 ゆうあい養護学校（高等部）校長
今野芳子	前 京都府総合教育センター所長
坂田紀行	全国病弱養護学校長会会長 （東京都立久留米養護学校長）
曾根秀敏	神奈川県教育委員会教育長
舘 暁夫	西南学院大学文学部社会福祉学科教授
寺山久美子	帝京平成大学健康メディカル学部長
仲田邦男	全国聾学校長会会長 （前 都立立川ろう学校長）
中野善達	佐野短期大学特任教授 （前 日本特殊教育学会理事長）
能瀬廉英	全国肢体不自由養護学校長会会長 （前 東京都立光明養護学校長）
西川公司	国立久里浜養護学校長
埴 忠蔵	横浜訓盲学院長
本堂元規	全国特殊学級設置学校長協会会長 （前 東京都日野市立大坂上中学校長）
三浦和	全国特殊教育推進連盟理事長
皆川春雄	全国盲学校長会会長 （東京都立八王子盲学校長）
宮崎英憲	全国特殊学校長会会長 （前 東京都立青鳥養護学校長）
渡辺勸持	岡山県立大学教授

（五十音順、敬称略） 以上20名

任期：13.8.1～15.7.31（下記以外の委員）  
14.5.27～15.7.31（曾根委員）  
14.8.1～15.7.31（遠藤委員、能瀬委員）